

平成29年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学 校 番 号	83		学 校 名	県立水海道第一高等学校				課 程	全 日 制		学 校 長 名	横 田 和 巳				
教 頭 名	新 井 智 子								事 務 室 長 名	大 塚 裕 之						
教 職 員 数	教 諭	55	養 護 教 諭	1	常 勤 講 師	3	非 常 勤 講 師	4	実 習 教 諭	1	事 務 職 員	3	技 術 職 員 等	3	計	73
生 徒 数	小 学 科	1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		合 計 ク ラ ス 数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	21				
	普通科		140	140	137	140	151	123			428		403			
			280		277		274				831					

2 目指す学校像

<p>「至誠」「剛健」「快活」の学校づくりを積極的に推進する。 社会人として求められる確かな学力や人間性を身につけさせるとともに、自己の将来を見つめた職業観・勤労観に基づく進路実現を支援し、開かれた地域貢献を目指して、各界のリーダーたらんとする人材の育成に努める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒・教職員、共に学び続ける学校 2 生徒・教職員の信頼関係が構築された学校 3 懇切・丁寧な指導・きめ細かな指導を実践する学校 4 一人ひとりの個性に応じた多様な進路実現がはかれる学校
--

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む。)

項 目	現 状 分 析	課 題
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校力」を向上させるため、各教員が校務分掌間、年次間、教科間の密接な連携協力の必要性を認識するとともに役割を果たしている。 ・積極的な広報活動を展開し、開かれた学校づくりを推進した結果、志願者数は1.20倍(志願先変更前)となるなど成果が出ている。保護者、地域社会との連携もきわめて良好である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望実現に向けた取り組みを一層強化し、本校への期待に応えられる教育活動を推進する。 ・3年間を見通した指導体制の確立を図る。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「校内相互授業参観」「アクティブラーニング研修」の実施などを通じて、授業改善と指導技術の向上を図っている。 ・成績上位者への課外や添削指導の成果が出てきており、全体の底上げにプラスに作用している。 ・家庭学習時間は増加しているものの、「年次数+2時間」の家庭学習時間の定着は図れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業指導力を向上させる取り組みを推進し、難関国立大、難関私立大の受験にも対応できる学力を身につけさせる。 ・家庭学習時間の定着を実現する。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・二人担任制による個別面談を充実させ、生徒理解を図りながら自主・自立の態度を養い社会規範の育成に努めている。 ・挨拶の励行、服装指導等を通じ、社会人として必要なマナーを身につけるよう努めている。 ・登校指導を通じて、遅刻をする生徒は減少したが、欠席数が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席・遅刻・早退の防止など学校生活中心の基本的生活習慣を確立させ、皆勤の生徒を増やす。 ・生徒が安全安心して生活できる環境をつくるとともに、メンタルヘルスにも配慮する。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の確立、高揚を目的とした取り組みを充実させているが、それが学習意欲の向上と家庭学習時間の増加につながっていない。 ・国公立大学合格者数(現役43名)は昨年より3名減少した。一方、私立大学合格者数(現役553名)は4年連続550名を超えるなど、本校を取り巻く進路環境が変化しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かい指導を徹底し、進路希望の実現に向けて初志貫徹できる全校的な支援体制を確立する。 ・難関国立大学、難関私立大学の合格者数を増やす。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会の活動を活性化する目的で組織の充実を図ったが、さらなる活性化が不可欠である。 ・運動部、文化部ともに活発である。部活動加入率は80%近くに達しており、生徒は高校生活を充実させようという姿勢が強く見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会の活性化が必要である。 ・学校行事を生徒会(各種委員会)中心に運営させることで、さらなる自主的・実践的な活動を目指す。

4 中期的目標

<p>社会人として地域社会に貢献できる人材，各界でリーダーとして活躍できる人材を育成するため，次の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 一人ひとりの生徒の将来設計・将来展望の中に建設的に大学進学等の進路を位置付け，現役での大学進学率90%以上，国公立大学合格および難関国立10大学への合格者を輩出する。首都圏に近い地域的環境をふまえ，難関私立大学への合格者数の増加を目指す。 生徒一人ひとりの学習意欲を高め，確かな学力を身につけさせるため，授業改善のための校内研修や自主研修を行い，授業力の向上を図り，分かる授業，学びが実感できる授業を構築する。 教師と生徒との人間関係づくりがすべての教育活動の土台であることを旨とし，教育相談等の機会を設けて，教師と生徒との信頼関係の構築を図り，心の教育を推進する。 「道徳」，総合的な学習の時間，特別活動（ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事），部活動等を充実させ，豊かな人間性や社会性を育む。 広報活動や授業公開，Webページによる情報提供等を積極的に行い，開かれた学校づくりを推進し，地域に信頼される学校づくりに努める。
--

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
学習指導の充実	① 生徒一人ひとりが自ら課題を見つけ，自ら学び，自ら考え，主体的に判断・行動し，みなと協働して問題をより良く解決しようとする能力を育成する。
	② 「授業第一」を徹底し，学ぶ楽しさ，喜びを実感できる授業を展開する。そのために少人数指導や習熟度別指導などきめ細かな指導を徹底する。さらに言語活動を充実させ，教科・科目等の枠を超えた横断的・総合的な探求活動の質的な充実を図る。
	③ 教材研究，相互授業参観，先進校視察，授業研修等を通して「学び続ける教員」として強い自覚を持ち，常に指導法の改善を実践し生徒の学習意欲を高める「授業力の向上」に努める。さらに学習の深化をもたらす評価や考查問題等の研究に努める。
	④ 家庭学習時間の確実な確保（年次数＋2時間）を徹底するとともに，学校での自習スペースや教室での居残り学習等を奨励することで，互いに切磋琢磨する環境を作る。さらに生徒一人ひとりの希望と適性に応じた主体的な学びを支援する手立てを講じる。
キャリア教育の推進	⑤ 教科指導，キャリアガイダンス等系統的・組織的なキャリア教育を実践し，生徒一人ひとりが将来に対して明確な動機付けができるように努める。
	⑥ 個々の生徒の進路希望，学力の推移及び今後の発展性等を常に把握しながら，最後まで高い目標に挑戦する態度を育成し，進路決定率90%以上を達成する。今年度は国公立大学70名以上，難関私立大学30名以上の合格を目指す。
心の教育の推進	⑦ 「道徳」や総合的な時間を通して，人間として在り方・生き方の教育を推進し，自らを律しつつ，友人と協調し，他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を育む。
	⑧ きめ細やかな面談指導を通して生徒理解に努めるとともに教員と生徒の信頼関係の構築を図る。スクールカウンセラーとの連携を密にし，心的に問題を抱える生徒に対する支援の充実を図る。
健やかな身体を育む教育の推進	⑨ 部活動やホームルーム活動，学校行事を通して，たくましく生きるための健康や体力を育むとともにより良い人間関係を構築する。生徒会活動や部活への積極的な参加を促し，部活動加入率80%以上を達成し，高いレベルでの学業と部活動の両立を目指す。
地域との連携の推進	⑩ 学校説明会，ホームページやスクールガイド，「泰山木」等を通して情報を積極的に発信して「開かれた学校づくり」に努めることで，保護者，卒業生や地域社会との連携強化を図る。